

発達支援センターえぶりい

概ね18歳までの子供の発達や成長で気になること、心配なことなどの相談を受けています。

予約方法など
詳しくはこちら▶



えぶりいの役割

- 気になることの相談窓口
- こども園や幼稚園との橋渡し役
- 療育機関へのパイプ役
- 地域での理解を深めること

相談の状況

全体のうち、約8割が6歳までの幼児に関する相談で、相談人数も年々増加しています。



子育ての学びの場 ペアレント プログラム

関わりの工夫や褒めポイント探しなど、子育ての楽しみを見つけられるようなグループプログラムです。

日程 6/14、28、7/12、26、8/9、23
いずれも(金) 14時~15時30分 (全6回)

ところ すこやかセンター

対象 小学3年生までの子供の保護者

定員 8人(先着順)

保護者の声

- ・子供の困ったところばかりではなく、良いところもいっぱい見つけられたので、沢山ほめようと思いました。
- ・自分のいいところ、努力しているところに気付けたので少し自信が持てそうな気がしてきました。

専門相談

様々な不安や悩みに専門職(言語聴覚士、理学療法士、作業療法士、臨床心理士)が答えます。

例えば…言葉がうまく話せない、歩き方・走り方がぎこちない、落ち着かずじっとしてられない、発達について気がかりがあるなど



保護者の声

- ・気になっていたことへのアドバイスが聞けて、気持ちが楽になりました。
- ・緊張していましたが、実際の相談は遊びを通して楽しく受けることができました。

問い合わせ 発達支援センターえぶりい(すこやかセンター内) ☎24・8434



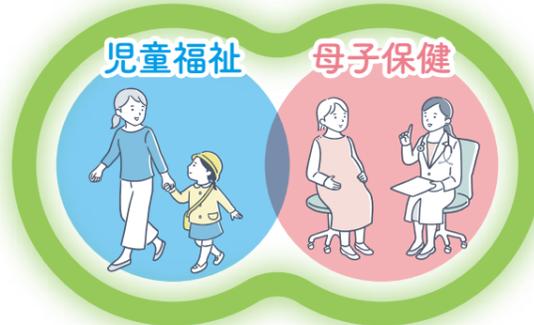
みんなで育む こまつの未来 vol.1

子供の笑顔が輝くまちへ

市では子供が生まれる前から進学するまで成長に合わせた切れ目ない子育てサポートを行っています。今月号からその取り組みや支援策についてお知らせしていきます。

こども家庭センター

4月1日に新設されたこども家庭センターでは、母子保健と児童福祉が一体となり、よりスムーズな支援につなげます。



すべての子供と
子育てを応援



こんなときは

- 子育てについて相談したい
- 気になるご家庭がある
例えば…泣き声、叱り声がよく聞こえる
小さい子供だけで過ごしている



こども家庭センター ☎24・8073 へ
お電話ください



家庭だけでは育児に
困難を抱えている家族
をまるごと支援します。

◀ 検討会の様子

あなたも子育て応援団!

子供たちの健やかな成長のために、一緒に活動しませんか。

ファミサポ協力会員

子供の送迎や出産後の家事支援など育児を手助けする有償ボランティアです。

里親

子供を自らの家庭に迎えて育ててくれる人。一時預かりも担っています。

小松市こども&地域食堂 ネットワーク協議会

「食事」を通じて地域で子供を見守り育てるボランティアです。

それぞれの活動について詳しくはこちら▶



地域の見守り役

民生委員・児童委員、 主任児童委員

子供の笑顔は地域の宝。町ぐるみで見守り、支えています。



主任児童委員の皆さん

問い合わせ こども家庭センター(市役所1階) ☎24・8073